

悪霊退散

シリーズ～新イエス～

2025/2/23

マルコ福音書1章21～28節

一行はカファルナウムに着いた。イエスは、安息日に会堂に入って教え始められた。人々はその教えに非常に驚いた。律法学者のようにではなく、権威ある者としてお教えになったからである。そのとき、この会堂に汚れた霊に取りつかかれた男がいて叫んだ。「ナザレのイエス、かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。」

マルコ福音書1章21～28節

イエスが、「黙れ。この人から出て行け」とお叱りになると、汚れた霊はその人にけいれんを起こさせ、大声をあげて出て行った。人々は皆驚いて、論じ合った。「これはいったいどういうことなのだ。権威ある新しい教えだ。この人が汚れた霊に命じると、その言うことを聴く。」イエスの評判は、たちまちガリラヤ地方の隅々にまで広まった。

「悪霊(汚れた霊)」について

• おそらく悪魔(サタン)の「使い」

- 「この巨大な竜、年を経た蛇、悪魔とかサタンとか呼ばれるもの、全人類を惑わす者は、投げ落とされた。地上に投げ落とされたのである。その使いたちも、もろともに投げ落とされた。」黙示録12:9

• なぜ福音書に何度も登場するのか？

- イエスがこの世に来られたことで悪霊の活動が盛んになった？
- 当時の人たちは病気や障害に対する知識が乏しかったので、その多くを悪霊の仕業と考えていた(最近まで世界中そうだった！)

悪霊が登場するエピソード①

•「まとめ」の言葉

- 「イエスの評判がシリア中に広まった。人々がイエスのところへ、いろいろな病気や苦しみに悩む者、悪霊に取りつかれた者、てんかんの者、中風の者など、あらゆる病人を連れて来たので、これらの人々をいやされた。」マタイ4: 24

•墓場にいた男(マルコ5: 1～20)

- 怪力で一日中叫び、自分を傷つけていた
- イエスを見るとひれ伏して「いと高き神の子イエス、かまわないでくれ。後生だから、苦しめないでほしい。」と叫び、豚にとりついて湖に落ちた

悪霊が登場するエピソード②

- **目が見えず口が利けない人(マタイ12:22)**
 - イエスが癒されるとものが言え、目が見えるように
- **ギリシア人の女の娘(マルコ7:26~30)**
 - 「悪霊にひどく苦しめられています」
 - 一旦はイエスに拒まれるが執拗に願うと、「悪霊は出て行ってしまった」とイエスが言われる
- **てんかん発作の子ども(マタイ17:14~21)**
 - 「てんかんでひどく苦しんでいます。度々火の中や水の中に倒れる」
 - 弟子たちには癒せなかったが、「イエスがお叱りになると、悪霊は出て行き、そのとき子供はいやされた」

会堂にいた悪霊

- 会堂で教えていたイエス

- 「人々はその教えに非常に驚いた。律法学者のようにではなく、権威ある者としてお教えになったからである。」

- 悪霊に取りつかれた男

- イエスの話を聴くまでは普通の状態？だった

- 突然叫び出した悪霊(に取りつかれた男)

- 「ナザレのイエス、かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。」

- 悪霊はイエスの「正体」を知っており、滅ぼされる恐怖におののいている

逃げ出した悪霊

- 悪霊を吐りつけたイエス

- 「イエスが、『黙れ。この人から出て行け』とお叱りになると、汚れた霊はその人にけいれんを起こさせ、大声をあげて出て行った。」

- 人々はイエスの「**権威**」に驚嘆した

- 「これはいったいどういうことなのだ。権威ある新しい教えだ。この人が汚れた霊に命じると、その言うことを聴く。」

- 悪霊に「出て行ってくれ」と頼んでいるのでも、戦っているわけでも、一生懸命「念じて」追い出しているのでもない

ファリサイ派も驚いた

- イエスがいつも簡単に悪霊を追い出すので、ファリサイ派は「悪霊の頭」だと言った
 - 「しかし、ファリサイ派の人々はこれを聞き、『悪霊の頭ベルゼブルの力によらなければ、この者は悪霊を追い出せはしない』と言った。」12:24
- ファリサイ派も悪霊を追い出そうとしていた
 - 「わたしがベルゼブルの力で悪霊を追い出すのなら、あなたたちの仲間は何の力で追い出すのか。だから、彼ら自身があなたたちを裁く者となる。」マタイ12:27
 - ファリサイ派が悪霊に裁かれる？

弟子たちにも与えられた「権威」

• 弟子たちを派遣する際に

- 「イエスは十二人を呼び集め、あらゆる悪霊に打ち勝ち、病気をいやす力と権能(力と権威／原語)をお授けになった。」ルカ9:1

• 弟子たちはその権威を実感した

- 「七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。『主よ、お名前を使うと、悪霊さえもわたしたちに屈服します。』」10:17
- イエスの名前だけでも悪霊は屈服する

日本の「悪霊追い出し」

- 日本でも昔から「悪霊追い出し(悪魔祓い)」は行われてきた
 - 町のいたるところに「祈祷所」があった
 - 安倍晴明のようなプロフェッショナルもいた
- 日本の「悪霊」は「死者の霊」とほぼ同義である
 - よくない死に方をした人の霊が悪さをしていると信じられてきた
- 「悪霊」を悪用した詐欺である
 - 「信者」と書いて「儲ける」と読む

悪霊恐れるに足りず！

- 悪霊はイエスにひれ伏していた
 - 「汚れた霊どもは、イエスを見るとひれ伏して、『**あなたは神の子だ**』と叫んだ。」マルコ3:11
 - 悪霊の方がイエスが誰か分かっている
- イエスに対抗するものは存在しない
 - サタンの誘惑を退けられた
 - 悪霊はその「権威」に逃げ出した
- イエスの弟子である私たちも悪霊を恐れる必要は全くない！
 - 「イエスの弟子」にも権威が授けられている

そのとき、この会堂に汚れた霊に取りつかれた男がいて叫んだ。「ナザレのイエス、かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。」

マルコ福音書1章23～24節